

地方公営企業法第 40 条の 2 第 1 項の規定に基づき、業務の状況について公表します。

平成 30 年 6 月

白河地方広域市町村圏整備組合
管理者 鈴木和夫

白河地方広域市町村圏整備組合水道用水供給事業の 業務の状況について

1 平成 30 年度事業の概要

平成 30 年度水道用水供給事業会計予算が、去る 2 月 26 日開催の当組合議会 2 月定例会において可決されましたのでお知らせします。

(1) 総括事項

本年度の業務としましては、供給 6 市町村（白河市、矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村及び棚倉町）を対象とし、年間総給水量 7,778,150 m³、一日最大給水量 21,310 m³を供給する予定です。前年度に引き続き、計画的な設備機器類の機能維持を図りながら、合理的な運転管理と健全な経営に努めるとともに、清浄でおいしい水の安定供給を図ってまいります。

本年度の予算につきましては、収益的収入は供給 6 市町村からの用水料金、地方公営企業繰出金、長期前受金戻入などを計上しています。収益的支出は当組合の芝原浄水場維持管理や保守点検、浄水に必要な動力費や薬品費、水質検査に要する経費、減価償却費、企業債利息、職員給与費などを計上しています。これら支出項目毎に適正かつ効率的に執行することを踏まえ、収益的収入は 1,146,286 千円、収益的支出は 959,776 千円を計上しました。資本的収支につきましては、資本的収入 55,928 千円（企業債、出資金）、資本的支出 421,094 千円（建設改良費、企業債償還金）を計上しました。資本的収入額が支出額に対し不足する額 365,166 千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金などで補てんします。

本年度の主な事業としましては、日常的な浄水場運転維持管理のほか、年次計画に基づいた施設の保守点検や修繕、そして、原水や浄水の水質検査などを行います。修繕工事として、芝原浄水場の屋根塗装修繕（3 か年計画の 3 年目）、薬品沈殿池汚泥掻寄機駆動装置修繕、急速ろ過池表洗ポンプ等修繕、脱水機設備等における劣化・消耗部品の交換整備など年次計画に基づき実施します。また、建設改良費としましては、福島県管理の堀川ダムについて、県の長寿命化計画に基づく堰堤改良事業（3 年目）実施に伴い、利水者側である当組合の負担割合 29.6%分を負担します。

(2) 収支の状況

ア 収益的収支

(単位：千円)

区 分		平成30年度 当初予算額	平成29年度 当初予算額	比 較 増 (△) 減	備考
収益的 収支	収益	営業収益	712,853	712,853	0
		営業外収益	385,168	458,421	△ 73,253
		特別利益	48,265	48,265	0
		計	1,146,286	1,219,539	△ 73,253
	費用	営業費用	847,141	946,602	△ 99,461
		営業外費用	107,634	118,571	△ 10,937
		特別損失	1	1	0
予備費		5,000	5,000	0	
計	959,776	1,070,174	△ 110,398		

イ 資本的収支

(単位：千円)

区 分		平成30年度 当初予算額	平成29年度 当初予算額	比 較 増 (△) 減	備考
資本的 収支	収入	企業債	49,400	0	49,400
		出資金	6,528	6,467	61
		計	55,928	6,467	49,461
	支出	建設改良費	49,492	27,839	21,653
		企業債償還金	371,602	363,496	8,106
		計	421,094	391,335	29,759

※資本的収入額が支出額に対し不足する額365,166千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金など365,166千円で補てんする。

(3) 予定貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	14,272,771	3. 固定負債	2,678,825
(1) 有形固定資産	8,365,092	(1) 企業債	2,628,825
(2) 無形固定資産	5,907,679	(2) 引当金	50,000
2. 流動資産	473,649	4. 流動負債	392,754
(1) 現金預金	453,108	(1) 企業債	374,736
(2) 未収金	0	(2) 未払金	13,744
(3) 貯蔵品	20,541	(3) 引当金	4,274
		5. 繰延収益	10,234,791
		(1) 長期前受金	18,276,745
		(2) 収益化累計額	8,041,954
		6. 資本金	800,130
		7. 剰余金	639,920
		(1) 資本剰余金	55,653
		(2) 利益剰余金	584,267
資産合計	14,746,420	負債資本合計	14,746,420

2 平成 29 年度事業の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

(1) 事業の概要

平成 30 年 3 月 31 日現在の予算執行状況としましては、収益的収入の予算額 1,219,539 千円に対し、用水料金・長期前受金戻入等による 1,226,204 千円（100.55%）の執行済額となり、収益的支出の予算額 1,070,174 千円に対しては、経営に伴う施設維持管理費・減価償却費等による 1,048,292 千円（97.96%）の執行済額となりました。また、資本的収支につきましては、資本的収入の予算額 6,467 千円に対し、出資金による 6,467 千円（100.00%）の執行済額となり、資本的支出の予算額 391,335 千円に対しては、建設改良費・企業債償還金による 389,786 千円（99.60%）の執行済額となりました。

水道水の供給状況としましては、供給市町村への総送水量が 7,574,602 m³となり、有収水量は 7,514,059 m³、有収率は 99.2% となりました。引き続き、安全な水の安定供給に努めてまいります。

平成 29 年度の主な事業としましては、水道水供給のための日常的な運転・維持管理、芝原浄水場・堀川ダムにおける原水や浄水の水質検査・放射性物質モニタリング検査を実施したほか、当組合施設における修繕工事として、芝原浄水場の屋根塗装修繕（3 年計画の 2 年目）、急速攪拌機及びフロキュレーター駆動装置修繕、急速ろ過池逆洗補給水ポンプ修繕、脱水機設備における劣化・消耗部品の交換整備など年次計画に基づき実施しました。また、建設改良費としましては、福島県管理の堀川ダムについて、県の長寿命化計画に基づく堰堤改良事業（2 年目）実施に伴い、利水者側である当組合の負担割合 29.6%分を負担しました。

当組合では、水道水の放射性物質モニタリング検査を週 1 回行っていますが、現在の状況は水道水中の放射性物質に係る管理目標値を下回っています。そのほか、原水（浄水場入口水）のモニタリング検査を週 1 回、堀川ダム流入水（堀川・横川）のモニタリング検査を月 1 回の検査頻度で行っていますが、いずれも管理目標値を下回っています。

(2) 経理の状況

平成29年度予算執行状況 (H30. 3. 31現在)

イ 収益的収支

(単位：千円)

区 分		平成29年度 当初予算額	補正予算額	予備費支出額 流用増減額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)	
収益的 収支	収益	営業収益	712,853	0	0	712,853	356,427	356,427	712,854	△ 1	100.00
		営業外収益	458,421	0	0	458,421	274	458,460	458,734	△ 313	100.07
		特別利益	48,265	0	0	48,265	48,283	6,333	54,616	△ 6,351	113.16
		計	1,219,539	0	0	1,219,539	404,984	821,220	1,226,204	△ 6,665	100.55
	費用	営業費用	946,602	0	0	946,602	79,879	848,399	928,278	18,324	98.06
		営業外費用	118,571	0	1,446	120,017	42,622	77,392	120,014	3	100.00
		特別損失	1	0	0	1	0	0	0	1	0.00
		予備費	5,000	0	△ 1,446	3,554	0	0	0	3,554	0.00
		計	1,070,174	0	0	1,070,174	122,501	925,791	1,048,292	21,882	97.96

ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分		平成29年度 当初予算額	補正予算額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)	
資本的 収支	収入	出資金	6,467	0	6,467	6,467	0	6,467	0	100.00
		計	6,467	0	6,467	6,467	0	6,467	0	100.00
	支出	建設改良費	27,839	0	27,839	0	26,292	26,292	1,547	94.44
		企業債償還金	363,496	0	363,496	180,735	182,759	363,494	2	100.00
		計	391,335	0	391,335	180,735	209,051	389,786	1,549	99.60

※資本的収入額が支出額に対し不足する額383,319千円は、過年度分損益勘定留保資金163,353千円、減債積立金193,674千円、建設改良積立金24,344千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,948千円で補てんした。

(3) 損益計算書

(単位：千円)

区 分	上期分	下期分	累計額
営業収益	330,024	330,026	660,050
営業費用	405,036	509,669	914,705
営業利益	△ 75,012	△ 179,643	△ 254,655
営業外収益	228,901	229,833	458,734
営業外費用	42,621	40,565	83,186
経常利益	111,268	9,625	120,893
特別利益	48,263	6,353	54,616
特別損失	0	0	0
当年度純利益	159,531	15,978	175,509
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	0	218,018	218,018
当年度未処分利益剰余金	159,531	233,996	393,527

※年度末において一括予算執行を行う長期前受金戻入及び減価償却費については、上期分・下期分としてそれぞれ推定される額を計上。

(4) 予定貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	14,768,553	3. 固定負債	3,004,164
(1)有形固定資産	8,763,315	(1)企業債	2,954,164
(2)無形固定資産	6,005,238	(2)引当金	50,000
2. 流動資産	524,165	4. 流動負債	390,019
(1)現金預金	503,607	(1)企業債	371,601
(2)未収金	0	(2)未払金	14,253
(3)貯蔵品	20,558	(3)引当金	4,165
		5. 繰延収益	10,618,582
		(1)長期前受金	18,276,745
		(2)収益化累計額	7,658,163
		6. 資本金	793,602
		7. 剰余金	486,351
		(1)資本剰余金	55,653
		(2)利益剰余金	430,698
資産合計	15,292,718	負債資本合計	15,292,718

(5) 企業債の状況

(単位：千円)

区分	前年度末残高	平成29年度		3月末現在残高
		3月末現在借入高	3月末現在償還高	
企業債	3,689,260	0	363,494	3,325,766